

(様式2(1))

グループホームスリール長田

令和 5 年 2 月 15 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	新型コロナウイルスの拡大により、近隣の公園や商店街に散歩や買い物に出かけられない。地域でのふれあいフェスティバルや夏祭り・屋台なども中止になっている。	新型コロナウイルスの感染拡大予防対策をし、近隣の公園や商店街に散歩や買い物に出かけられるようにする。	○散歩のコース、買い物のコースを決める。 ○出かける前にバイタル測定をする。 ○出かける時はマスクを着用する。 ○帰ってきたら、手洗い、うがい、消毒をする。	12ヶ月
2	10	毎月届ける手書きの手紙に、意見要望を伝えて下さるよう伝えているが連絡はない。家族とは来所の際や電話で直接話すほか、ショートメールを活用している。「お正月を一緒に過ごしたい」との要望がある。	毎月届ける手紙に、意見要望を伝えて下さるよう伝えているが連絡がないので、家族が来所した時に意見要望を聞くようにする。	○家族が来所した時に利用者の最近の様子を伝える。 ○家族が帰られる時に意見要望を聞くようにする。	12ヶ月
3	35	年2回消防計画を消防署に提出して消防訓練を行っている。家族、地域住民に理解いただくため運営推進会議の日に、洪水等を想定して避難を行った。1階の入居者が2階に避難する場面で車椅子や移動困難な方の対応、ファイルや薬の持ち出しに課題が残った。	想定外の集中豪雨が発生し、それに伴い停電による事故などが発生した時に対応できるマニュアルを作成する。入居者の避難がスムーズに行えるように職員同士で訓練をする。ファイルや薬の持ち出し手順を作成する。	○入居者を避難する時の順番を作成する。 ○入居者一人一人の避難時の移動の手順を作成する。 ○水や食料、衛生用品、個人の薬、ファイルなどをまとめて書き出して職員と共有する。	12ヶ月
4	49	晴天時にはなるべく毎日散歩が行えるように、意識して取り組んでいたがコロナ禍で散歩に行けていない。新型コロナウイルス感染対策として面会も出来ていない。	新型コロナウイルスの感染拡大予防対策をし、晴天時にはなるべく近隣の公園や商店街に散歩や買い物に出かけられるようにする。 面会の制限も解除する。	○出かける時はマスクを着用する。 ○帰ってきたら、手洗い、うがい、消毒をする。 ○面会は来られる前に連絡をしていただく。 ○1回の面会は2名までで短時間にする。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。